

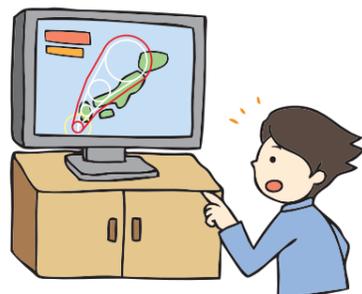
風水害（洪水）

洪水時における避難の心得

万一、洪水の危険が迫ってきたら冷静に判断しながら安全な避難を心がけてください。

1 正確な情報収集と早めの避難を！

テレビやラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら早めの避難をすることが重要です。市役所や消防署からの呼びかけがあった場合には速やかに避難してください。



2 動きやすい服装と集団での避難を！

自宅の周りが浸水していなくても、避難場所への移動途中で道路などが浸水していることも考えられます。そのため、避難するときは、持ち物はリュックに入れ、手は自由にし、運動靴をはくなど動きやすい服装をし、2人以上での行動を心がけましょう。



3 はん濫した水は勢いが強く、深さ 50cm でも危険！

洪水によりはん濫した水は勢いが強く、水深が50cmあると大人でも歩くのが困難です。そのため、避難のための十分な時間が確保できない場合や浸水深によっては、緊急避難として高い堅牢な建物や自宅の2階などへの待避の行動を選択することも必要です。



4 はん濫した水は濁っており、水面下は危険！

洪水によりはん濫した水は土砂が流れ込んでいるため茶色く濁っており、水面下の水路や道路の溝、ふたが開いたマンホールの穴が見えません。やむを得ず水の中を移動するときは、長い棒で足元の安全を確認しながら移動しましょう。



5 車での避難は危険性が高いため、控える！

車での避難は緊急車両の通行の妨げになるだけでなく、浸水した場所で動けなくなることや、川や水路などへの転落、渋滞により避難ができなくなるなど、大変危険です。特別な場合を除き、車での避難は控えましょう。



風水害に係る情報

災害が起こるおそれがあると予想される場合、気象庁や徳島県などから次の警報等が発表されます。予め内容を理解し、発表された際には適切な行動がとれるようにしておきましょう。

気象庁の発表する警報等（大雨 / 洪水）

警報等の種類	概要	求められる行動
特別警報（大雨）	数十年に一度の大雨など重大な災害が起こるおそれが著しく大きいと予想される場合	避難勧告等に従い、直ちに指定避難場所へ避難！ 外出が危険な場合は、家の中で少しでも安全な場所へ移動！
警報（大雨 / 洪水）	重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合	防災行政無線等の情報に注意し、速やかな避難ができるように準備！ 被災のおそれがある場合は速やかな自主避難を！
注意報（大雨 / 洪水）	災害が起こるおそれがあると予想される場合	防災行政無線の電源が入っているか、電池が切れていないか確認！ テレビ・ラジオの情報に注意！
記録的短時間大雨情報	大雨警報が発表されているときに、数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析した時に発表される情報	
土砂災害警戒情報	大雨警報が発表されている状況で、土砂災害の危険度が高まった時に発表される情報 土の中に溜まっている水の量と1時間の降雨量をもとに判定しており、2時間後の状況を想定し発表されます	

河川水位情報等（宮川内谷川）

宮川内谷川では、河川の増水による水位に応じて以下のような危険度レベルが示されています。水位に応じて水防活動や住民の避難行動などに活用されています。

洪水予報	水位危険度レベル	水位の名称等	水位(七条)	概要	相当する避難情報※
氾濫発生情報（洪水警報）	レベル 5	氾濫の発生		氾濫が発生しており、氾濫水への警戒を求める状況	避難指示（緊急）相当
氾濫危険情報（洪水警報）	レベル 4	氾濫危険水位	3.50m	いつ氾濫してもおかしくない状態で、避難等の対応を求める段階	避難勧告相当
氾濫警戒情報（洪水警報）	レベル 3	避難判断水位	2.50m	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階	避難準備・高齢者等避難開始相当
氾濫注意情報（洪水注意報）	レベル 2	氾濫注意水位	2.50m	氾濫発生に対する注意を求める段階	
	レベル 1	水防団待機水位	1.50m	水防団が待機する水位	

※避難情報は、様々な要因で判断されるものであり、該当の水位に到達する前に避難情報が発令されることもあります。

七条水位観測所：板野郡上板町七条字挽木